

櫻守の会

平成 31 年 3 月 1 日 (通巻 238 号)
発行：櫻守の会代表 土井喜夫
〒665-0001 宝塚市長寿ガ丘 17-45
会員数 118 名 (2 月 25 日現在)
HP : <http://www.sakuramori.net>

2019 年 3 月

西垣 幹雄

2025 年に大阪万博開催が決まったが、‘70 大阪万博でのある出来事を思い出した。

満員を敬遠して休日の午後に会場を覗いた 7 才、5 才、2 才半の 3 人の子連れ。ポラロイドカメラのはしりの頃だったので、メーカー社員が 10 人ごとに記念写真を撮ってプレゼントしていた。行列の人数を読むとどう見ても当たりそうにない。が、この頃は子供 3 人連れが珍しかったのか、選ばれて写してくれた。とても嬉しかった。まだモノクロ写真の時代だ。

会場はどのパビリオンも行列していて、2、3 か所だけ入って後は入場を諦めた。人込みから離れて閑散とした池端の芝生で子供を遊ばせた。池には跳び石伝いで向こう岸へ行く散策路があった。上の子 2 人は珍しがって跳び石を渡り鬼ごっこを始めた。下の子が追っかけた、追いつこうと懸命に。だが、跳び石を渡る知恵がなかった。腹ばいになって土手にしがみついても池に落ちた。しまったと親。止める間がなかった。下の子は尻まで水に浸かっていた。急いで靴を脱ぎ、池に入り救い上げた。上の子の寒さ防ぎの 2 枚パンツの 1 枚を脱がせて間に合わせた。池が浅く、親の目の前でよかった。私は 7 人兄弟の末弟だが、5 番目の三男は生家の前の池で溺死したと聞いていた。子守をつけていたらしいが……。もう 30 センチ池が深かったら…、親の目の前でなかったら…、事故が起こるということはこんなことか。親として不注意では済まされないとこだった。ズボンや靴の濡れが目立たなくなるまで日溜りで遊び、何事もなかったような顔で帰宅した。田舎の両家のばあさんには報告しないままだった。

以来半世紀、万博記念公園を訪れる度に記憶をたどり、らしき池を探す但未だに特定できずにいる。昨秋も楽植会で万博記念公園を散策したが、跳び石のある池は特定できなかった。今、上 2 人の子には 1 歳と 0 歳の孫がいる。

時代は飛んでデジカメが普及した。退職して毎日が日曜の日々。行動の記録を兼ねてパソコンに何でも丸ごと保存するようになった。ところが昨夏、何を勘違いしたのかパソコンに保存してきたほぼ 20 年の全記録を抹消してしまった。スキャンしてパソコンに保存していた 50 年前のモノクロのポラロイド写真も消えてしまった……。

唐突だが、伐採や草刈りで擦り傷、切り傷が絶えない。やや値段は高いが BAND-AID のキズパワーパッドがお勧めだ。傷口をよく洗ってから貼れば治るまで取り換えること不要。防水も OK。傷口を小さくしながら貼り付けると傷跡が小さくて済む。消えてしまった 20 年間の記録の傷跡には何が効くのだろうか。



「初飛行 5M」

(写真、タイトルとも西垣さん)

***** 目 次 *****

表紙	P1	序文
活動報告	P2~P6	桜の園、青葉台、ゆずり葉の森、山手台、武庫山の森
イベント報告	P6~P8	環境学習報告 (逆瀬台小、美座小)、公開講座報告、北摂里山大学受講報告
お知らせ・案内	P8~P9	運営委員会報告、桜見学バスツアー案内、自然観察会案内、武庫川エコハイク
会員紹介	P9~P10	
活動予定	P10	活動予定 (3 月度・4 月度)

＜ 活 動 報 告 ＞

桜の園 (亦楽山荘)

濱野 秀穂

1月29日(火) 曇り 参加者25名

雨上がりの朝から、午後には少し小雪が舞う大変寒い一日となりましたが、春に向けての作業を取り進めました。また、4月の観桜会の準備もスタートさせました。

作業区分	作業場所	作業内容	人数	リーダー
桜育成	コナラ林植樹地	桜周辺の除伐と作業道補修	8名	濱野
園路整備	つつじヶ丘～ササラ沢	園路整備、階段設置等	7名	加賀野
園路整備	隔水亭～どんぐりの道	周辺整備、作業道補修	8名	吉田
その他	園路各所	桜マップ製作調査	2名	陰山

・桜育成(コナラ林植樹地)

前回に引き続き、コナラ林植樹地上部の桜廻りの除伐、滝見の道上部の桜廻りの除伐と常緑樹の間伐を行なった。また、作業道の階段補修を行った。桜の日当たりを悪くしているコナラの間伐作業は残っているが、一応桜廻りの除伐は終了とし、次回は作業道の階段補修を行う予定をしている。(濱野)

・園路整備(つつじヶ丘～ササラ沢)

今回も園路整備、階段敷設用の重い資材(プラ階段12セット、丸太2本、鉄筋杭15本)と用具(カケヤ1本、トンガ2本、短ハンマー2本)を他班の協力も得てササラ沢まで運び上げ、11時頃から作業を開始した。午前中はササラ沢から園路中段位までで、プラ階段、丸太、現地中石を使い分けて階段の補修、新設を行った。寒さに震えながらソソクサと昼食を済ませると、通行の邪魔をしているソヨゴとマルバアオダモの傾斜木各1本伐採。その後つつじヶ丘へ登りつつ階段の補修、新設を行った。合計20箇所の階段整備が出来、予定の作業範囲の園路整備は全て実施できた。今回も厳しい寒さの中、重い荷物を持って長い区間を移動、作業して頂き有難うございました。(加賀野)



路肩と階段の補修

・園路整備(隔水亭～どんぐりの道)

隔水亭～どんぐりの道作業道の整備を行った。急斜面の山側土留めにプラ製フェンスと鉄筋・横木の土留を設置し、谷側の路肩には前回伐採した杉を使って整備した。また、新たに階段8段を設置して歩き易くした。この区間が関係者以外通行禁止区間であることから最低限の整備に留め、今回の作業で整備は一応終了とした。なお、別動班として親水広場向かいの斜面(トンネル上)の掛木の処理と常緑樹3本を処理し整備した。(吉田)



山側の土留めの設置

2月5日(火) 晴れ 参加者23名

春の様な日差しが差す季節外れの暖かい一日となり、作業をしていると汗ばむほどでしたが、本日より観桜会に向けての園路整備に本格的に取り組みました。

作業区分	作業場所	作業内容	人数	リーダー
森の整備	コナラ林植樹地	作業道の階段補修他	6名	濱野
園路整備	桜の道	(隔水亭～東屋)路肩整備、作業道補修他	6名	加賀野
園路整備	桜の道	(東屋～桜坂)路肩整備、作業道補修他	8名	坂田
その他	園路各所	桜マップ製作調査	3名	陰山

・森の整備（コナラ林植樹地）

前回、未実施であった階段の補修をメインにコナラ林植樹地で作業をしました。春の様な日差しがあり気温も上昇した為か、子虫が元気に飛び回り、作業中まとわりつき往生しました。

丸太材を2度持ち上げて頂いた方もあり、16段の階段の取り替えと路肩の補修を行いました。また、桜廻りの除伐の他、常緑樹のヤブツバキの伐採も行いました。（濱野）



路肩の整備

・園路整備（隔水亭～東屋）

比較的小人数で、多くの資材（φ8 cm丸太と太鉄筋杭）を使って作業したため、一部メンバーは遠見倉庫と桜の道間を3回重い丸太等を担いで登りました。作業は桜の道の隔水亭／東屋間の中央の沢部の路肩整備を中心として、一部階段横木の更新も行い、楠木横から上り部真ん中付近まで、当初予定の80%位の整備が出来たところで、丸太が無くなり路肩整備は中断しました。その後沢部山側斜面に積み重ねられた蛇籠の上面にまで大中の石が長年の大雨等で堆積し、今にも園路に落下しそうになっていたのも、全員でバケツリレー方式で上面の石を路肩下方谷へ移動させました。より園路の安全性を高めるには、蛇籠を積み上げるまたは、蛇籠内面に堆積した石を谷まで移動させる必要があります。参加者は皆、資材の運び上げ、太長の鉄筋杭の打ち込み等で大変疲れられました、有難うございました。（加賀野）



階段の補修整備

・園路整備（東屋～桜坂）

東屋下から桜坂を下りながら園路補修を行いました。路肩の丸太が腐って欠損している部分では、残っていた鉄筋を使い、新しい杉丸太と路傍の手頃な雑木を2本伐倒して補修。園路山側に滑り落ちて堆積して道を狭くしている土砂を削り、道幅を確保しました。また、プロアワーを使用して堆積した落ち葉も除去しました。桜坂全体の1/5程進んだところで時間切れとなりました。（坂田）

2月13日（水） 晴れ 参加者24名

冬らしい寒さの中、園路整備を中心に作業を進めました。朝からNHK神戸放送局の女性ディレクターが来られ、笹部新太郎さんの関係の取材の一環として、亦楽山荘の状況確認をされました。放送されるかどうかは未定とのことでした。

作業区分	作業場所	作業内容	人数	リーダー
伐採	桜坂	枯れたネムノキの伐採	7名	吉田
園路整備	桜の道	(隔水亭～東屋)路肩整備、作業道補修他	6名	加賀野
園路整備	桜の道	(東屋～桜坂)路肩整備、作業道補修他	9名	坂田
その他	園内各所	NHK 神戸放送局の取材対応他	2名	土井

・伐採（桜坂）

まず2又になって隣の樹に架かっている枝を高枝切で処理した後、主幹をチルホールとチェーンソーを使い伐採処理した。この際、チルホールは十分な距離をとっていないこともあり、伐採木が牽引者近くまで達しヒヤリハットであった。伐採状態は結果的にうまくいったが、折れ枝2本が隣のコナラの高いところに架かり難儀するも、ロープ、高枝掛け等使い、何とか処理することができた。ネムノキ伐採処理後周辺の常緑・小ネムノキを伐採整備した。最後に中ネムノキを伐採、掛木となったが何とか時間内に処理できた。（吉田）



ネムノキ主幹ワイヤー掛け

・園路整備（隔水亭～東屋）

φ6 cm丸太棒 4 本と 2 つの倉庫に残っていた鉄筋杭 10 本と現地路肩で不要になっていた鉄筋杭を使って、桜の道の隔水亭～東屋間の路肩 5 箇所と階段 4 箇所の補修を行い、また沢(谷)部山側に敷設されている蛇籠の頂面まで堆積している土砂混じりの石をツルハシとスコップで掘り起こし、バケツを使って反対側の斜面に 75 杯位捨てたが、見た目では作業前に比べて段差は 10 cmにも達しなかった。ここで一休みします。作業して頂いた皆様本当に有難うございました。大雨時にいい効果が出て欲しいと願っています。(加賀野)



蛇籠上部の清掃作業

・園路整備（東屋～桜坂）

前回の継続作業で、A 班は桜坂入口から登りながら、B 班は桜坂上部より下りながらの主に路肩の補強を行いました。準備した杉丸太の他に、園路の上斜面で数本の中木を伐採、朽ちた路肩の丸太と交換し、鉄筋はあちこちで打ち込まれたまま放置されていたものを回収して間に合わせました。併せて、道の山側で幅を狭くしている土砂をけずり取り、道幅を広く確保しました。

まだ整備出来ていない部分が大分残っていますので、次回も引き続き土砂を除いての道幅の確保と、ブローアを使用しての落ち葉の除去を行いたいと思います。(坂田)



園路、整備された路肩

ゆずり葉の森

上田 威

2月11日(月) 雪 参加者3名

朝から雪の舞う空模様の為に参加者は3名。活動中止もやむを得ぬ状態だったが、11月から行っているヤマザクラの根元の土砂流出対策用の蛇籠を1個でも完成させようと作業を開始。大小の石集めと蛇籠への詰め込みを行った。雪は降り止まず、両手がかじかんで来たため予定の蛇籠1個の設置を終えた11時半で作業を終了し、小雪の降り止まぬ中、活動地を後にした。

ゆずり葉森の広場のベンチ3脚とテーブル1卓の修理が終わり、新しくなりました。今後も地域の人の憩いの場として喜ばれると思います。北県民局の支援と会員 H さんの協力の賜です。



白瀬川広場の雪景色



蛇籠への石詰め作業



修理を終えたゆずり葉の森の広場の
テーブルとベンチ

青葉台

上田 威

1月23日(水) 晴 参加者15名

真冬ながら晴天と穏やかな気温に恵まれて最適な活動日となり作業は大変捗った。

第1班7名は前々回からの継続で、北逆瀬台口から行者山に至る山道の大径の枯れ松や枯れコナラをチェーンソーを使って伐採、処理。午後はキツネの森に移動して同じく枯れコナラ等の伐採に汗を流した。

第2班6名は小林堰堤下の園路に残っていた伐採木の処理を行った。木杭を利用した積込み場も作り一帯はすっきりした。

第3班2名は青葉台入口から陽光桜広場への園路の路肩補強を行った。雨天時に車道方面に土を削って流れ出る水を止める対策。材料に伐採木の幹を利用。全員疲労感を漂わせながら、やや早めに2時過ぎに作業を終えた。



行者山道の枯松伐採

山手台

岡 敏明

2月19日(火) 雨天中止でした。

現在、南斜面および長尾幼稚園の水仙(いずれも櫻守の会員が世話をしている)が白い花を一杯咲かせています。また、先月から始まっていた活動地の西側の「歩道横の側溝に蓋をする工事」が完成し、一時的と思われませんが歩道が広くなりました。

側溝の工事が完了した歩道



武庫山の森

岸本英邦

2月3日(日) 曇 参加者21名

温かいとの予報だった朝は寒かった。2時過ぎ小雨になったが、何とか予定通りに作業できた。

1. 塩谷ルート上部南側斜面の常緑樹の萌芽切りなど(継続)(7名)

アラカシ、ヤシャブシ、ヒサカキなど密集しているもの、大きくなって 周囲に陰を作っているものを伐採し、コバノミツバツツジにかかっている枯れ枝などを整理した。大分スッキリしてきたと思ったが、園路にあがってみるとあまり改善されているようには見えない。まだまだ整備を続けなければ。

2. 塩谷ルート(大櫻4号から2号の間)脇の常緑樹除伐(継続)(8名)

クスノキ2本、ナナミノキ、クロガネモチの大型常緑樹をチェーンソーとチェーンソーを使用して処理。クスノキは直径35センチ、樹齢約30年の大きな木で葉も茂っており、更に倒した後の幹の固定に苦労をしたので、処理にはほぼ午前中を使った。大きな木を処理したのであたりは明るく開けた。

3. 広場周りの整理と次回植樹の準備 (6名)

- ・広場にあった石を活用し飛び石の橋を作り、広場から育苗畑に迂回せず渡れるようにした。

- ・次回植樹の準備と植樹畑の整理。育ちすぎて根がポットから飛び出した苗木(クヌギ6本、ムクノキ8本)を掘り出した。予定より早く終わったので一部は植樹までできた。(塩谷ルート入り口上の枯れコナラ伐採跡にクヌギ2



塩谷ルート常緑樹除伐



塩谷ルート入口の植樹

本とムクノキ、武庫山ルートの一昨年の台風で倒れた大コナラ2本の跡にクヌギとムクノキ2本)
・広場下段の奥で茂っていたトウネズミモチ2本を伐採し、後ろのクロガネモチやサクラが良く見えるようにした。

2月16日(土) 曇 参加者21名 + 体験参加1名

1. 塩谷ルート上部南側斜面の常緑樹の萌芽切り(継続)(7名)

園路から近いところのヤブニッケイ、アラカシ、ヒサカキを主に伐採した。ルート頂上の平端部まで前進できたので、あと1回で南東側は終了か。

2. 塩谷ルートの常緑樹除伐(継続)(7名)

大櫻2号と競合する樹齢55年程度のクスノキを伐採。枝葉が多くカラスザンショウなどを巻き添えにして倒れたので、処理に午前中かかった。午後はアカメガシワ、センダン、カシや古い倒木を処理し、大櫻4号と競合しているコナラの太い枝を高枝鋸で切って作業を終えた。



クスノキの伐採

3. 広場周りの植樹(5名)

育苗畑で育てたクヌギとムクノキ2本、亦楽山荘で掘ってきたケンポウナシとタカノツメ3本、北谷右岸で掘り上げたイロハモミジ6本を植樹した。

- ・集合広場周りに5本(ケンポウナシ1本、タカノツメ2本、モミジ2本)。林内のモミジはクロチクの根などがびっしりで手こずった。全般に石が多くて土も固く良い環境とは言えず成長が心配。
- ・入り口正面にタカノツメと北谷左岸の土手にモミジ4本。
- ・塩谷の急斜面(前々回伐採した常緑樹の跡)にクヌギ、ムクノキ2本。足場のない急斜面で大変だったが、掘りやすい砂土なので何とか完了した。

< イベント報告 >

環境学習報告(2校)

上田 威

1. 逆瀬台小学校 2月8日(金) 晴 参加者: 児童43名、先生他3名、会員11名

寒風の吹きすさぶ中、校庭での学習となった。学習の始まる30分前に11名の会員が参加し、ホダ木の一部にドリルでの穴開け等の下準備を行った。児童達は袋詰めした生シイタケ/干しシイタケ/種駒/ホダ木のコナラから取れたドングリを参考に、シイタケとその栽培についての学習。次いで8班に分かれ各班1名~2名の会員の指導の下、ドリルを使用してコナラのホダ木への穴開け実習と種駒の菌打ちを体験。最後に、過去に植菌したホダ木を組み替え、今回植菌したホダ木を井桁組みして寒冷紗で覆い、散水して体験実習を終えた。



←ホダ木への穴開け体験

寒冷紗で覆ったホダ木に
ジョウロで散水 →



2、美座小学校 2月14日(木) 曇り 参加者：児童55名、先生3名、会員15名

本校でのシイタケ植菌は初めての体験学習。どんよりとした寒い一日でした。15名の会員が校庭に集り、9時より準備開始。事前打ち合わせと一部のホダ木への穴開けを実施。9:30より授業。土井代表の挨拶後に、袋詰めした実物4点セット「生シイタケ/干しシイタケ/種駒/ホダ木のコナラから取れたドングリ」を参考にシイタケとその栽培について学習。8班分かれて班ごとに担当した1~2名の会員の指導の下、ドリルでの穴開けとシイタケ菌の駒打ちを体験。特にドリルを使つての作業は初めての体験だったようです。作業時間は各班によりまちまちだったが、無事に終了。ホダ場で組み込み、寒冷紗をかぶせ、最後に上から散水をして予定より早めの10時半に全ての作業を終了。児童と会員との間で握手を交わして解散した。



ホダ木への駒菌の打込み



先生がホダ木に散水



里山公開講座実施報告

岡 敏明

2月23日(土) 参加者；47名(うち会員外 13名)

今年の里山公開講座は、『ソリオ2』4階の宝塚市立男女共同参画センター・エルを会場として開催しました。

第1部は「災害に強い森林」の演題で兵庫県森林林業技術センターの山瀬 敬太郎氏に講演していただきました。山瀬氏は当公開講座の講師常連ですが、「新ネタ」を携えての久々の登場です。森林の3つの減災機能(①表面浸食防止、②斜面崩壊防止、③土石流軽減)について、多くの図表や写真を用いてわかりやすく説明していただき、質疑応答では丁寧な回答が印象に残りました。第2部は会員の酒井さんによる「櫻守の会」の活動紹介がありましたが、第1部終了後にかなりの人数の方が帰られたのは残念でした。



熱心に耳を傾ける参加者

第7期 北摂里山大学を受講しました

山下 弘子

昨年の5月19日、兵庫県立人と自然の博物館で第1回の講座が始まり、今年2月17日に第11回の講座とグループワークを終え、北摂里山大学の修了証書を戴きました。会からの援助と受講に協力をいただいたことにお礼申し上げます。今、こうして頂いた資料やその時々記録に目を通しますと、里山の保全とは、あるいは保全者の育成とは、というテーマで実に沢山の事をそれも専門家が調査された知識を話されたので、興味の持てた人にはまたとないいい機会だったと思います。

里山林の基礎として、植生、世界の原植生、里山の歴史、古文書から読み解く里山の暮らし、食生活、納税、鉍毒、雨雪による崩落、水利、治水、炭焼、祭祀等々の幅広い話をお聞きしました。実習体験として、丸山湿原では安全な作業の仕方と除伐を、また有馬富士にある大学の学習林では植生調査と兵庫方式による里山管理を習い、体験しました。

見学としては、川西市黒川の台場クヌギと昆虫、ブナ林、丸山湿原、昆陽池の里山林と野鳥等を訪れ、人々の暮らしを思いながら楽しみました。ただ、JR宝塚線の事故の影響で皿池湿原の見学日が休講に、また雨のため炭焼窯、黒川の桜の森にも行けませんでした。8期生と共に参加できるとのことで楽しみにしています。

受講期間中には“公開講座”や“北摂 SATOYAMA 国際セミナー”で里山や自然に関する講演を聞く機会もありました。全講座や実習体験は里山を見直す機会にもなりましたし、全てハイキングのように楽しい時間でした。有難うございました。



春の里山

< お知らせ・案内 >

運営委員会（2月度）報告

運営委員会代表 土井 喜夫

日時：2019年1月30日（水）

場所：ぷらごこむ1 25A会議室

議事

- ① 20周年記念 さくら見学会の開催（4月6日）… 会報2月号「お知らせ」参照
- ② 会報の会員紹介・・・幅広く会員紹介を進めていく
- ③ 桜見学バスツアー（4月10日）を開催 … 会報「お知らせ」参照
- ④ 櫻守の会「20年誌」発行について協議、発行予定は5月末
- ⑤ 北摂里山魅力づくり応援事業（2019年度）の案募集
- ⑥ 新入会員への木製名札の支給を再開する
- ⑦ 2019・花と緑のフェスティバルの準備 … 4月27（土）28（日）、末広公園にて開催

桜見学バスツアーのご案内

事務局

琵琶湖の桜名所「**海津大崎**」（日本のさくらの名所100選）の観光船からの花見と、水上勉「櫻守」に登場する「**清水の桜**」の見学ツアーを4月10日（水）に行います。

行程・申し込み方法などの詳細は、同封の別紙をご覧ください。



春の自然観察会のお知らせ

土井 喜夫

早春の花を見つけよう！

日時：3月8日（金） 10時30分 雨天中止

集合：JR西宮名塩駅 改札口

解散：JR西宮名塩駅 12時頃

コース：西宮名塩駅 → 八幡神社 → 蓮如旧跡 → 段々畑 → 塩瀬公園 → 西宮名塩駅

申し込みは不要です。

問合せ先：090-5882-1032 土井まで



今回は武庫川水系(三田市)と加古川水系(篠山市)の分水嶺の虚空蔵山に登り、日本六古窯のひとつ立杭陶の郷を訪ねます

日時：平成31年3月9日(土) 雨天中止

集合：9時30分 JR福知山線「藍本駅」駅前広場

ルート：JR 藍本駅前 ～酒滴神社さかたれ ～登山道入口 ～中ノ池 ～登山口 ～虚空蔵堂こくぞうどう～

立杭陶の郷たちくいすえ分岐きと ～虚空蔵山山頂(592m) ～陶の郷自然歩道 ～登山道出口～

陶の郷(見学)・バス停 ……JR 相野駅 約6km 健脚向き(急な登りが続きます)

解散：14時30分頃 立杭陶の郷(バス15:23発相野駅15:40頃着)

参加費：100円(保険代、資料代)

申込み：不要(当日集合場所にお越しください)

持ち物：弁当、飲み物、雨具

*お問合せ：エコグループ・武庫川 携帯090-7763-6763(上田)

URL：<http://ecomukogawa.web.fc2.com/>

会員消息

事務局

今月は入会者・退会者ともにありませんでした。

< 会員紹介 >

田中 敬子さん

何年前だったか、水上勉著の「櫻守」を読んで、大峰山から下山後に荒廃した桜の園を後に廃線歩きしたのは？ 過ぎ去った昔のことを思い浮かべながら、登山という趣味の延長として里山整備に関わらせていただいています。退職後時間が出来て入会させて頂きましたが、思うように事は運ばず、一年の半分も活動日に参加できません。

市の【広報たからづか】を読んで、“欠席が多くなりますが、女性の割合は…”等々、お尋ねして入会させて頂きました。はじめの一步はおっかなびっくりでした。説明をお聞きしても、どなたがどなたか分からず、作業の場所もリーダーも分からない(どこへ行けばいいの？と叫んでいました)、一年近く続いた不安の日々でしたが、作業はとても新鮮で楽しいものでした。

自分ひとりで飛び込んだ世界、恥も外見もなくよくめげずに続いたものです。最初、武田尾の亦楽山荘の集合場所がはっきりしない、結局分からずに大峰山から清荒神まで縦走し、そのまま帰宅したことがありました。会報を熟読していなかった反省と、鋏、鋸、ヘルメット等用具が支給されていなかった気楽さとあいまって、不思議な一日でした。後日、用具を頂くのに役員さんにはご足労をおかけしました。それがこの四月でもう三年、いいえ、まだ三年です。

どなたの言葉だったか「怪我だけはするな」と、当たり前をしっかりとさせて頂きました。参加出来る活動日には、お天気になります様にと願いつつ、その日を待ち遠しく日々を送っています。

2018年1月にK氏の説明を受け、亦楽山荘の作業に初参加。その日はとても寒く雪が積もり、墨絵のような美しい景色でした。

私は2016年に自由な時間ができ、ボケ防止？にシニア自然大学に入りました。自然の全般的なお話を聞いたり、磯の生物採集に淡輪へ行ったり、ムササビが飛ぶところを見るために夕方の奈良公園まで行ったりと色々面白かったです。2017年に森林文化科に入り、毎週金曜日に20名程で活動。ここでは、天王山で竹を切って広葉樹林への転換作業、河南町の高貴寺で桜の育成、大阪教育大学柏原キャンパスで森林部分の整備等、鋸の作業や高野山の巨木など自然観察会もあり、面白かったです。

そんな時にとっても元気な主人が体調を崩したので、家から近い櫻守の事をH氏から聞いていたので、入会して森林活動を続けたいと思いました。今は主人も落ち着き、ホッとしております。

まだまだ作業参加は少ないのですが、皆さんと一緒に季節の風を感じ、鳥の鳴き声を聞きながら食べるおむすびの味は最高です。戦力にはなりません、自然を身近に感じながら、皆さんと一緒に仲良く元気で活動できたらと願っております。そして、少しでも木の名前が覚えられたらいいなあと思っております。

＜ 活動予定 (3月・4月) ＞

月別行事予定表

3月	場所等	4月	場所等
3月 3日 (日)	武庫山の森	4月 1日 (金)	ゆずり葉の森
3月 5日 (火)	桜の園・亦楽山荘	4月 3日 (水)	桜の園・亦楽山荘
3月 8日 (金)	自然観察会 (JR 西宮名塩)	4月 6日 (土)	さくら見学会 (桜の園)
3月 12日 (火)	ゆずり葉の森	4月 7日 (日)	武庫山の森
3月 16日 (土)	武庫山の森	4月 10日 (水)	桜見学バスツアー
3月 19日 (火)	山手台	4月 12日 (金)	桜の園・亦楽山荘
3月 23日 (土)	桜の園・亦楽山荘	4月 16日 (火)	山手台
3月 27日 (水)	青葉台	4月 20日 (土)	武庫山の森
3月 29日 (金)	桜の園・亦楽山荘	4月 21日 (日)	桜の園・亦楽山荘
3月 30日 (土)	会報印刷 (ぶらざこむ)	4月 25日 (木)	青葉台
		4月 26日 (金)	会報印刷 (ぶらざこむ)
		4月 27日 (土)	花と緑のフェスティバル
		4月 28日 (日)	〃

集合時間 : 桜の園・亦楽山荘・・・親水広場 9時50分、武庫山の森 9時50分
他の3活動地は9時30分。

天候 : 当日朝 6時55分 NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも
降水確率 60%以上の時は中止します。

編集後記: 2月になって雑事が折り重なるようにやって来たせいか、慌ただしく日々が過ぎ行きた。本稿を書いている今日は早くも26日で、今月の会報印刷日は27日。いつもは30日が印刷日なので、切が3日も早いではないか。2月に会報編集担当になった我が身の不運を嘆きつつ、一方では未だ花粉症を発症していない幸運を喜びつつ、せっせとキーボードを叩いている。それにしてもとにかく忙しい2月だった。(記: 酒井)